

## パキスタン国 D.G.カーン地区灌漑開発計画調査 (F/S)

(調査期間：1991年4月～15ヵ月、担当業務：乾燥地農業)

### 調査背景

調査対象地域である D.G.カーン地区は、パキスタン国パンジャブ州のインダス川西部に位置し、夏期に集中する降雨により発生する洪水流を用いた伝統的な灌漑農業に依存しているが、降雨の時期及び量が毎年大きく変動するため、農業生産は非常に不安定である。このため、1950年代からインダス川から取水する灌漑施設建設が開始され、1968年に灌漑水路が完成された。水路建設後は、洪水灌漑地域や山地部の住民がより安定した収入源を求めて水路灌漑地域や市街地へ移住し、その結果、洪水流を農地へ分水するための施設の維持管理が困難となり、多くの施設が損傷を受けて機能を失った。また、下流地区の灌漑水路、農地及び作物、道路・鉄道等にも洪水被害が及び、洪水の制御と農業への活用が重要な課題となっている。

### 調査概要

以上のような状況のもとで調査は、灌漑・排水、気象水文、土壌・土地利用、農業、農地防災、設計・積算、農業経済等 8人の専門家で構成された調査団によって実施された。フェーズ I 調査では各分野の専門家による関連情報の収集・解析及び現地調査が行われ、対象地域の開発基本方針の策定及び優先地区の選定を行った。フェーズ II 調査では、優先地区に対するより詳細な調査が実施され、洪水制御計画、灌漑計画、流域保全計画、土地利用計画、農業開発計画、施設計画等が策定された。なお土地利用計画策定の際は、調査対象地域で家畜の放牧地として使用されているレンジランドの保全や管理についても考慮に入れた。

### 担当事項

- 調査対象地域の土壌・土地利用に係る資料・情報の収集及び解析
- 調査対象地域における土壌・土地利用状況の現地調査
- 調査対象地域における放牧地（レンジランド）管理に関する情報収集及び現地調査
- 土地資源に係る開発阻害要因の解析
- 自然条件及び社会経済条件等を考慮した土地利用計画及び放牧地管理計画の策定

